



《笑顔でチャレンジ!》
学校だより

上越市立下黒川小学校

第 14 号

令和2年1月28日発行 (回覧2月15日便)

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



子どもたちの笑顔輝く = Challenge with a Smile =
《心班対抗大縄大会☆イキイキ体操フェスティバル☆金管引継ぎ式》

校長 岩下 伸子

1月24日(金)、1日自由参観の折に、《心班対抗大縄大会》《イキイキ体操フェスティバル》《金管引継ぎ式》を行いました。

例年、《金管引継ぎ式》は、12月に行っていたのですが、学校だより第2号でお知らせしたとおり、今年度は、子どもたちから子どもたちへと、自主的に伝統の引継ぎが行われるように、練習の時間を確保し、1月に引継ぎ式を行うこととしました。

限られた練習期間ではありましたが、最後の演奏となる6年生も、新たに加わる3年生も、真剣に練習に取り組んでいました。もちろん、今後、中心となって活動していく4・5年生も真剣です。

【伝統を引き継ぎ、伝えていく】という活動は、その行為や活動そのものを引き継ぐと同時に、その精神・心意気をも引き継いでいくという、とても大切な活動であると考えます。

普段は、元気いっぱい遊んでいる3年生が、凛々しい顔でフラッグを握りしめる。普段は、冗談を言ったり、踊ったり、笑ったりしている4・5・6年生が、真剣に楽器を演奏する…。また一つ、子どもたちのステキな姿を見ることができました。

《心班対抗大縄大会》では、みんなで掛け声を掛け合いながら、記録に挑戦する姿が見られました。

タイミングよく大縄に入れない子に、タイミングを教えてあげる。「今だよ」と声を掛けたり、軽く肩を押してあげたりする。「ドンマイ!」と声を掛ける。記録更新も大切ですが、心の繋がり、互いに思い合う豊かな心も大切です。そんなことを思わせてくれる子どもたちのステキな笑顔でした。

《イキイキ体操フェスティバル》は当校の自慢です。2学期後半から、この日に向けて、子どもたちは一生懸命に器械運動の練習に取り組みます。休み時間も練習します。他の学年の技を見ながら、自分もやってみようと挑戦します。跳び箱の台上前転や鉄棒の連続回りなどに、低学年も挑戦します。全校が一つのことに取り組み、できるようになったことをおうちの方に見てもらいたいという思いが、子どもたちの技を上達させます。がんばった子どもたちにどうぞ芳いの言葉を掛けてあげてください。

《心班対抗大縄大会》結果 (2分間で跳んだ回数。1回目/2回目)



	A班	B班	C班	D班	E班
12/10	26	31	61	81	34
12/17	37/35	54/66	64/70	78/64	35/20
12/23	48/35	57/66	77/82	79/82	41/49
1/14	44/50	46/39	67/57	70/71	49/51
1/17	38/45	56/71	86/83	94/84	59/53
1/24	54/55	57/67	86/105	87/87	71/59

心班対抗大縄大会では、本番で、3つの班が記録を更新しました。優勝はC班、2位はD班、3位はE班、4位はB班、5位はA班でした。1回目・2回目の合計回数で順位が決まります。しかし、3・4・5位のE・B・A班は初日の2倍以上の回数を跳んでいました。

「心班対抗大縄大会」班長一言感想

- 《A》最初は長時間「間隔」があいてしまったり、真ん中ではなく、持ち手に近い方で跳んでしまったりした人がいたけど、練習を重ねるにつれ、連続跳びや背中を押さなくても跳べる人が増えていったのでよかったです。
- 《B》練習では1回目は31回だったけど、本番では70回ぐらいになった。新記録が出せなかったが、うれしい。
- 《C》本番で、練習より多く跳べた。105回も跳べて、よくがんばったと思います。
- 《D》1回目の大縄練習で引かかる人がいたので、みんなで声を掛け合いながら跳びました。そしたら、班の最高記録が94回になってうれしかったです。
- 《E》最初はうまくいかなかったけど、アドバイスを言うといっぱい跳べるようになってよかったです。本番では70回をこえることができてよかった。(小池清陽さん)



《イキイキ体操フェスティバル》

昨年度までは、低・中・高学年ごとに実施していたイキイキ体操フェスティバルを、今年度は下学年・上学年ごとに実施しました(2限は1~3年生、3限は4~6年生)。

体育館に整列した子どもたちは、大縄・短縄、鉄棒、マット、跳び箱に挑戦し、いろいろな技を披露しました。いくつかの学年が混ざって練習をすることによって、より難しい技に挑戦してみようと意欲が湧くようです。

大縄は学年ごとに挑戦しました(2分間)。3年生は120回という新記録を出し、大喜び。心を一つに、集中し、油断しない、リズムカルに跳ぶなど、コツをつかむと上手に跳べるようになります。友達との絆も深まっていきます。短縄では駆け足跳びや二重跳び・ハヤブサ跳び・あや跳び・交差跳びなどに、跳び箱では開脚跳び(中には11段の開脚跳びも)や台上前転・抱えこみ跳びなどに、マットでは前転後転の連続技や側転・開脚前転・開脚後転などに、鉄棒ではこうもりや逆上がりはもちろん連続前回りや足掛け後ろ回りなどにも挑戦していました。

今年はオリンピック・パラリンピックの年。大潟区にもジムリーナがオープンしました。たくさんさんの刺激を受けながら、体力や技能の向上を目指していくことができるといいですね。

以下は【3年生の作文シート】から一部感想を抜粋したものです。

マットでは、前転・後転・後転・前転と普通の技をやりました。開脚前転と開脚後転ができてよかったです。鉄棒はこうもりをやりました。足掛け前回りをしたくて3回チャレンジしました。けど、惜しかったけど、できませんでした。跳び箱は11段跳べてよかったです。3年生だけの大縄は、120回跳べてよかったです。

初めは鉄棒がうまくできななかったけど、先生や友達が教えてくれて技ができてよかったです。跳び箱で、初めは台上前転ができなかったけど、先生が教えてくれて、できました。本番ではきれいな演技ができてうれしかったです。台上前転が6段の跳び箱でできてよかったです。たくさん練習してできてうれしいです。

マットは前転・後転・側転ができてうれしかったです。失敗もしたけど、楽しかったです。鉄棒では前回りができてうれしかったです。こうもりもできそうだったけど、怖くて手が離せなかったです。跳び箱はむかしはできた台上前転ができて、うれしかったです。最初は怖かったけど、できればもう怖くないです。短縄ではサバイバル跳びができて、疲れたけど、最後まで跳べてうれしかったです。拍手をもらって楽しかったです。二重跳びも二重あや跳びもいっばいできてうれしかったです。



《金管引継ぎ式》 … 「お願いします！」 「がんばります！」

にじいろ学年6年生から、はばたき学年5年生・ひまわり学年4年生・えがお学年3年生へと金管バンドが引き継がれました。指揮者が6年生から5年生へと引継がれました。



最初は、6～4年生による『こんにちはトランペット・ドラムマーチ・フィナーレ』。

6年生と一緒に最後の演奏演技。体育館中にステキな演奏を響かせ、体育館を広く使って大きく演技した下黒川小金管バンド。子どもたちは練習の成果を発揮し、最高の演奏演技と感動をお届けしようと、真剣なまなざしで取り組みました。

ステージの上からは、大勢の保護者・地域の皆様が見守って下さいました。ありがとうございました。



続いて演奏したのは、6年生。

6年生最後の演奏は『RPG』。運動会、柿崎時代夏祭り、小中合同音楽祭で発表してきた曲。6年生の宝物となった曲です。

昨年度の引継ぎ式後、今後の金管バンドの練習方針を決める中、「新曲は増やさない。今演奏できるレパートリーを先輩から後輩へと引継いでいく。限られた時間の中、自分たちの力で伝統の引継ぎを行っていく」ということを教師と子どもたちで確認しました。そして、最後の新曲として現6年生・5年生が決定した曲が『RPG』。自分たちで曲を決め、自分たちで練習してきた『RPG』。思い出もひとしおです。

そのため、最後の演奏は、自信に満ちた、堂々とした演奏となりました。演奏が終わると大きな拍手が沸き起こりました。



最後の演奏は、5～3年生。新メンバーの演奏です。

新しくメンバーになった18人の3年生は、緊張した面持ちで、しかし、真剣に、凛とした姿で立ち、かっぱいフラッグを振り、演技していました。

4年生は、自分たちは新たに楽器の練習をし、そして3年生にはフラッグの振付を教えるという二重の練習に取り組みました。そのため、隙間の時間を見つけては一生懸命自主練習に取り組みました。

15人の5年生には、伝統を引き継ぎ、自分たちが中心となって、【金管バンドを引っ張っていく！】という意気込みが、感じられました。「6年生、ぼくたち・私たち、大丈夫です！がんばります！見てください！」という熱い思いが伝わる演奏でした。

これから5月の運動会に向けて『フィナーレ・RPG』を練習していきます。

5月23日(土)運動会を、どうぞ楽しみに！



様々な学校で、課外活動の見直しが進む中、当校の「金管課外」の在り方についての見直しも必至です。当校では、児童数の減少がさらに拍車をかけます。現2年生は5人です。新1年生も5人です。令和6年度には複式学級が誕生するかもしれません。そんな中、「金管課外」を今後どのようにしていくべきかを検討しているところです。

「金管課外」を通じて子どもたちは大きく成長します。子どもたちが心を入れた演奏演技がたくさん感動を与えてくれます。しかし、たくさんの学校が「金管課外」をやめてきた(やめていく)現実もあります。これから先、ずっと継続できるのか等々、課題があります。「金管課外」は当校の特色ある教育活動の一つです。しかし、様々な見直し・検討を推進していかなければなりません。学校では、これから、【やめること・継続すること・改善すること】について熟議を重ねていきます。「金管課外」について、ご意見・ご感想等がありましたら、担任または学校までお寄せください。



《第4回避難訓練(地震・火事)》

1月21日(火)第4回避難訓練を行いました。今年度最後の避難訓練。1年間のまとめとしての避難訓練です。

お昼休み、子どもたちはそれぞれの場所で遊んだり活動したりしている中、①震度5の地震が発生し、その後、②ボイラー室から出火したという想定です。第1次避難場所として体育館を設定しました。

事前指導は行いましたが、詳しい日時は知らせない形で、当日を迎えました。しかし、年間予定や月の予定に載っていたため、子どもたちは「今日、避難訓練だ」「1時40分にはベルが鳴るらしいぞ」と言いながら、落ち着かない様子でした。ところが、いざ緊急地震速報のチャイム音が鳴ると、姿勢を低くして、頭を守り、室内の中央に集まっていました。その後、緊急放送に耳を澄まし、放送の指示に従い、行動することができました。

2階以上にいた子どもたちは東階段を下り、防火シャッター脇の非常扉から避難し、防火扉を手で押して逃げます。1階の1・2年生教室やプレイルームにいた子どもたちは、ベランダからいったん外に出て、その後、児童玄関や体育館玄関から体育館に避難します。(もちろん、大きな火災の場合は、外に逃げます。体育館が安全である場合のみ、体育館に避難します。今回は、ボイラー室の扉で火を閉じ込め、防火扉でさらに延焼を防ぐ想定で、ボイラー室から一番離れている体育館を、避難場所として設定しました。)



「静かに放送を聞き、落ち着いて避難できていた」と消防署の方から講評していただきました。

全体指導の後、5・6年生の子どもたちは消火器での消火体験をしました。消防署の方から、「火災の場合、先ず、『火事だ〜』と、大きな声を出して大人を呼ぶ。消火器は大人に任せる。でも、大人が使い方を知らなかったら、『①黄色いピンを抜く。②ホースを持つ。③レバーを引く。』と使い方を教える。大人がいなくて小さな火なら、初期消火をする。しかし安全第一。決して火のそばに近付き過ぎない。離れ過ぎてしまうと、放射前に薬剤が尽きてしまう。消火器の放射時間は15秒。自分の身長より大きな火の場合は、絶対近寄らない。すぐに逃げ、火災を知らせる。無理は絶対しない」と、ご指導いただきました。

職員の細かい動きについてご指導・ご助言をいただきましたので、それらを今後の避難訓練・防災教育に生かしていきます。

=子どもたちの活躍=

- ★第8回・じょうしんえつ絵画展 奨励賞 2年生
- ★第14回「前島密とふれあう」ふれあいはがきコンクール 佳作 4年生
- ★いきいきわくわく科学賞2019 いきいき賞 3年生
- ★第16回上越信金小学生図画展覧会
金賞 5年生 銅賞 2年生 6年生
- ★第50回新潟県ジュニア美術展覧会
奨励賞 3年生2名 5年生



第2回福祉の集い (2月21日)

2月21日(金)、「第2回福祉の集い」を行います。地域の皆様・保護者の皆様にご協力いただいたアルミ缶回収。今年度の収益金は約13万円。「よねやまの里」様に車いすを2台寄贈予定です。

当日は、1年間の福祉活動を子どもたちが振り返ります。保護者の皆様も是非、ご参観ください。

今年度最後のTKB週間 (1月23日~29日)

1月23日~29日、今年度最後のTKB週間でした。柿崎中学校区4校で取り組んでいるTKB週間。テレビを消し、ゲームや動画・メディア等からも離れ、集中して学習に取り組む習慣が身に付くといいいですね。《良い習慣は一生の宝》と言われる。自主的・主体的に学習に取り組む習慣は、子どもたちの一生の《宝》となるはず。よろしくお願ひいたします。なお、小学校低学年でもゲーム依存的な子どもたちが多いとニュースにもあります。おうちの方が知らないうちに課金していたり、トラブルに巻き込まれたりするようです。今一度、各ご家庭のゲームに関する約束をご確認ください。ゲーム機やスマホ、タブレット等の与え方・使わせ方の責任は保護者にあると考えます。お子さんと話し合っただけだとありがたいです。